

今日のトピック 2023年6月の注目イベント
FOMCで利上げ停止となるか、日本は株主総会に注目

- 6月は13日～14日に米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。5月のFOMCでは、米連邦準備制度理事会（FRB）が0.25%の利上げを決定するとともに、金融不安がくすぶることを踏まえ、利上げ打ち止めの可能性を示唆しました。しかし、その後発表されたFOMC議事要旨では、参加者の間で利上げをめぐり意見が分かれていることがわかりました。今回は利上げ停止となるか注目されます。
- 欧州中央銀行（ECB）の理事会が15日に行われます。4月のユーロ圏の消費者物価の伸び率は前年同月比+7.0%と前月から拡大しており、ECBは追加利上げを決めるとみられます。また、15～16日の日銀の金融政策決定会合では、長短金利操作などの政策修正があるか注目されます。
- 日本の株主総会は、29日がピークになる模様です。東京証券取引所が上場企業に、資本コストや株価を意識した経営に取り組むよう要請したことで、株価純資産倍率（PBR）1倍割れを理由に株主還元の拡充などを求めるアクティビストの株主提案が相次いでおり、今年の株主総会が注目されます。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2023年6月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:5月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 2日:5月雇用統計 5日:5月ISM非製造業景況指数 7日:4月貿易収支	1日:ユーロ圏5月CPI 6日:ユーロ圏4月小売売上高	1日:中国5月財新製造業PMI 5日:中国5月財新非製造業PMI 6日:蒙州金融政策決定会合 7日:蒙州1-3月期GDP、中国5月貿易収支 8日:インド金融政策決定会合 9日:中国5月CPI、PPI	1日:1-3月期法人企業統計 6日:4月家計調査、4月毎月勤労統計 7日:4月景気動向指数 8日:4月国際収支、5月景気ウォッチャー調査
13日:5月消費者物価指数(CPI) 13日-14日:FOMC 14日:5月生産者物価指数(PPI) 15日:5月小売売上高、5月鉱工業生産 16日:6月ミシガン大学消費者センチメント指数	14日:ユーロ圏4月鉱工業生産 15日:ECB理事会 、ユーロ圏4月貿易収支	15日:中国5月小売売上高、5月鉱工業生産、5月固定資産投資、蒙州5月雇用統計	12日:5月企業物価指数 15日:5月貿易収支、4月機械受注 15-16日:日銀金融政策決定会合
23日:6月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 27日:4月S&Pコアロジック・ケースシラー住宅価格指数、6月コンファレンスボード消費者信頼感指数 30日:5月個人所得、5月個人消費支出(PCE)、5月PCEデフレーター	22日:イングランド銀行金融政策委員会 、ユーロ圏6月消費者信頼感指数 23日:ユーロ圏6月PMI 26日:ドイツ6月IFO企業景況感指数 30日:ユーロ圏6月CPI	21日:ブラジル金融政策決定会合 22日:トルコ金融政策決定会合、メキシコ金融政策決定会合 30日:中国6月製造業、非製造業PMI	23日:5月全国CPI 26日:5月企業向けサービス価格指数 29日:株主総会集中日 、5月小売売上高 30日:6月東京都区部CPI、5月失業率、5月有効求人倍率、5月鉱工業生産

(注) 2023年5月24日現在。日付は現地時間。（出所）各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**チーフリサーチストラテジスト
石井康之（いしい やすゆき）**

**ここも
チェック!** 2023年4月25日 2023年5月の注目イベント
2023年3月29日 2023年4月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。